

2018年7月2日(月)
— 8月5日(日)



会場

関西大学博物館特別展示室

【開館時間】 10:00~16:00

【休館日】 日曜・祝日（ただし、7月16日、8月5日は特別開館）

◎お問い合わせ

関西大学博物館

〒564-8680

大阪府吹田市山手町3丁目3-35

TEL : 06-6368-1171

◎共催



関西大学博物館
Kansai University Museum



神戸市立博物館
Kobe City Museum

地 図 皿 と 世 界 本 日 に みる

関西大学博物館
2018年度 夏季企画展
神戸市立博物館選



今なら、フィクションの地図。当時は、ノンフィクションでした。





地図を文様として描いた陶磁器、すなわち「地図皿」と呼ばれたものは、江戸中期以降からみられ、天保年間(1830~44)には、伊万里を中心に盛んに生産されるようになります。もともとは、武士の間で出世を願ったハレの場で使われていたといわれる地図皿ですが、やがて一般庶民の間でも大流行しました。円形、角形、扇形、木の葉形などの形状に青海波、飛鶴、菊花、松葉といった様々なデザインがみられることから、江戸時代の人々がいかに地図皿というものを楽しんでいたかがうかがえます。

それらの皿には世界図、日本図、九州図などが広がり、中には現在の私たちの常識と合致するところもあれば、地理的現実とかけ離れたところも描かれています。また、一目国、長人国、小人国、女人国など好奇心をくすぐられるような国々の名前も見られます。はたして、地図皿を眺めた当時の人々の目に、どのような世界と日本が映っていたのでしょうか。

本展覧会は、神戸市立博物館と共催して、同館の地図皿コレクションの精華ともいえる地図皿23点を中心に展示します。さらに、地図柄が流行した時代背景を理解するため、南蛮屏風(高精細複製)や地図、地誌書などの関連資料を合わせた40点余りの資料をとおり、当時の人々がみた世界と日本をご覧ください。



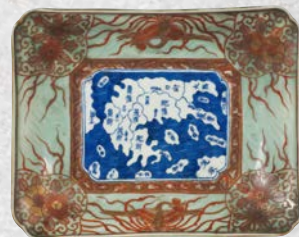
三彩ユーラシア・アフリカ大陸図円形皿



緑釉南北アメリカ大陸図六稜形皿



染付千鳥に渦巻き文日本図円形皿



色絵九州図隅切角形皿

盛れる地図



緑釉日本図角形皿



染付世界図円形皿



染付青海波文日本図扇形皿



褐釉南北アメリカ大陸図六稜形皿



染付日本図水車形皿



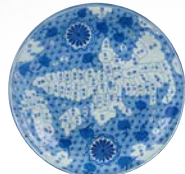
染付青海波文に唐船図九州図木瓜形皿



青磁染付飛鶴文日本図円形皿



染付日本図隅切角形皿



染付松葉繁ぎに葵文日本図円形皿



緑釉日本図角形皿



金彩染付日本図皿



三彩南北アメリカ大陸図六稜形皿

■関連講演会とイベント

◎ 講演会

「江戸時代のワンダーランド」講師:小野田 一幸氏(神戸市立博物館学芸課長)

「地図皿を彩る地図と意匠」講師:中山 創太氏(神戸市立博物館学芸員)

日時:2018年7月14日(土) 13:00より 場所:関西大学博物館

※参加無料。要事前申込(定員100名、先着順受付)。

参加を希望される方は件名を「地図皿講演会」とし、①氏名(漢字・ふりがな)②連絡先(電話番号・E-Mailアドレス)を記入のうえ、E-Mailもしくは往復はがきにてご連絡ください。(E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp)

■個人情報は、本講演会にのみ使用させていただきます。

◎ 学芸員による展示解説

日時:2018年7月24日(火) 13:00~13:30 場所:関西大学博物館 ※参加無料。

◎ キッズミュージアム 手作り南蛮屏風に挑戦

日時:2018年8月2日(木)、8月3日(金) 場所:関西大学博物館

※参加無料。申込み方法は6月下旬に関西大学博物館ウェブページより公開

■会場



阪急電鉄千里線「関大前」駅。関大前駅から徒歩約10分。



関西大学博物館
Kansai University Museum

〒564-8680

大阪府吹田市山手町3丁目3-35

TEL: 06-6368-1171 FAX: 06-6388-9928

E-mail: hakubutsukan@ml.kandai.jp

関西大学博物館

検索

表面上部:褐釉南北アメリカ大陸図六稜形皿

表面右上から時計回り:緑釉南北アメリカ大陸図六稜形皿、染付世界図円形皿、染付日本図水車形皿、金彩染付日本図皿、青磁染付飛鶴文日本図円形皿(いずれも部分)

※すべて神戸市立博物館所蔵